

氏名（本籍）	Alula Tesfay Asfha		
学位の種類	博士（ 学術 ）		
学位記番号	博甲第	9917	号
学位授与年月	令和 3 年 3 月 25 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当		
審査研究科	人間総合科学研究科		
学位論文題目	Integrated Approach for Heritage Conservation in Mekelle, Ethiopia : through the Historic Urban Landscape Approach エチオピア・メケレの遺産保存のための統合的手法の研究ー 歴史的都市景観からのアプローチ		
主査	筑波大学教授	博士（デザイン学）	上北 恭史
副査	筑波大学教授	博士（世界遺産学）	吉田 正人
副査	筑波大学助教	博士（理学）	池田 真利子
副査	筑波大学名誉教授	工学博士	稲葉 信子

論文の内容の要旨

Alula Tesfay Asfha 氏の博士学位論文は、ユネスコによって勧告された歴史的環境保全 (Historic Urban Landscape : HUL) の考えを援用し、エチオピアの歴史的都市メケレ市街地に残る様々な遺産の保存と都市計画を結びつける統合的方法論の構築を試みたものである。

その要旨は以下のとおりである。

メケレをはじめエチオピアの歴史的都市には様々な民族によって文化が重層的に形成され、帝国や植民地としての歴史を経て、現在の都市の個性や文化的価値を表していると著者はいう。しかしながら遺産として指定され保全されているものは限られており、また遺産として認識されていないものもある。近年の経済開発によって失われてしまう遺産もあり、これらの貴重な遺産が失われてしまう前に有効な保全対策の必要性を訴えている。また地方政府のなかで遺産を保存する部局と都市計画などの開発部門が連携していないことも効率的に遺産を保存する体制が整えられない原因であると指摘している。

そこで著者は、2011年にユネスコによって勧告された HUL の手法に着目し、遺産の保存だけにとどまらず、遺産の周辺から都市域全体へ広がる歴史的環境の保全体制構築について研究することとした。歴史的都市の個性を決めている遺産はそれぞれが単体で存在している。遺産の種類や歴史的背景は異なるものの、それぞれの遺産は空間的に重層して都市の歴史的景観を形成している。遺産、特に文化遺産は法による保護制度のもとで指定されて保存されるが、それぞれは単体として保存され、その遺産を取り巻く歴史的景観として保全されるわけではない。そして遺産の周辺が開発されることによってそれぞれの遺産は分断され、歴史的景観は失われていくことになる。HUL は都市の遺産をマッピングし、遺産に関係するステークホルダーを特定し、保全と開発の優先順位をつけることによって適切な都市開発と管理を調整するメカニズムである。著者はメケレに残る遺産を事例に取りあげ、遺産群としての考え方、保存管理の方法、そして都市計画へ導入する方法を検討した。

本論文は 8 章から構成され、「HUL の理論的枠組み」、「ティグレ州の遺産保存体制」、「メケレの都市開

発と遺産管理」、「メケレの都市遺産」、「メケレにおける歴史的都市保存のための統合手法」、「メケレ市都市計画における遺産の統合」、という流れで、最後に「結論と展望」としてまとめている。

エチオピア北部のティグレ州はエルトリアとスーダンに接している地域である。メケレはその州都で、住民の多くはエチオピアで3番目に多いティグレ人から構成される。州民の多くはキリスト教であるエチオピア正教を信仰し、市内には多くの教会を有する。またメケレは古くから伝わるエチオピア帝国の中心地になったり、近代のイタリアによる植民地になったりしており、メケレ市街地にはエチオピアの歴史に影響を与えた歴史的遺構も残されている。

著者は、メケレに残る都市遺産として、遺跡や城郭、教会、産業遺産といった37の有形文化遺産に加えて、祭りなどの4つの無形文化遺産、そして河川などの自然遺産を事例として取り上げている。文献調査、フィールド調査から得られた情報をもとに、それぞれの文化的特徴や歴史的背景、保存の体制と現状、そしてステークホルダーについて整理し、統合的アプローチ手法を考えるための素材とした。収集したメケレの遺産の情報を基に、時代背景、遺産の種類、市街地における場所等によって遺産を次のクラスターに分類した。1. メケレ初期の住居跡、2. ヨハネス4世エチオピア帝国首都、3. Dejar Abrha (20世紀初頭の知事) 臨時首都、4. Raesi Seyoum(ヨハネス4世の孫)の時代、5. Raesi Gugsa(20世紀前半の知事)の時代、6. イタリア植民地時代、7. Kedamay Woyane(最初の革命)、8. Raesi Mengesha(20世紀前半の王子)時代、9. 社会主義時代の遺産、10. 塩の道の遺産、11. 自然遺産(先住民族の森と川)、12. 伝統的住居群、13. 無形遺産と継承されている場所、という13のクラスターに分類し、それぞれのクラスターをメケレ市街地の地図に空間的に位置づけた。一般に遺産を空間的にグルーピングする場合、遺跡や建造物などといった遺産の種類によってまとめられる。本研究の特徴はクラスターのテーマに従って異なる種類の遺産をまとめて保全するという空間的まとまりを特定する手法にある。たとえば祭りのような無形遺産は人々によって受け継がれる遺産であり、本来は保存地区のように空間的に保存対象場所を指定ことはできない。著者は無形遺産を継承するコミュニティの居住場所を特定し、その場所をクラスターとして保全空間に反映することによって都市空間における歴史的環境を保全していく可能性を示した。

本研究は、抽出された遺産のクラスターを都市の歴史的環境の保全に組み込んでいくために、メケレ市の都市計画に組み込む統合的方法についてさらに言及している。メケレ市の都市計画は、25年間の総合都市開発計画、10年間の都市計画マスタープラン、そしてインフラ、交通、地域開発、地方経済開発などの5年間のプロジェクト計画として構成されている。著者は25年間と10年間の中長期の都市計画において、遺産の保全戦略と遺産クラスターのゾーニング計画を組み入れ、さらに5年間のプロジェクト計画に個々の遺産の保存計画を組み入れ、短期から中長期にわたって都市計画に遺産保全計画を連動させることにより、歴史的環境の保全体制を構築することを提案した。

審査の結果の要旨

(批評)

Alula Tesfay Asfha 氏の博士學位論文は、エチオピアの歴史的都市メケレに残る多様な種類の遺産の分析を通してグルーピングする手法を考案し、都市計画に組み込む遺産保全の可能性について提案した。歴史的都市に残る多様な種類にわたる遺産を、歴史的事象や民族の生活の観点からカテゴリーにまとめるなど、歴史的環境保全HULの統合的手法に新たな可能性を示したことが評価される。

令和2年12月24日、學位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと論文について説明を求め、関連事項について質疑応答を行い、最終試験を行った。その結果、審査委員全員が合格と判定した。

よって、著者は博士(学術)の学位を受けるのに十分な資格を有するものと認める。